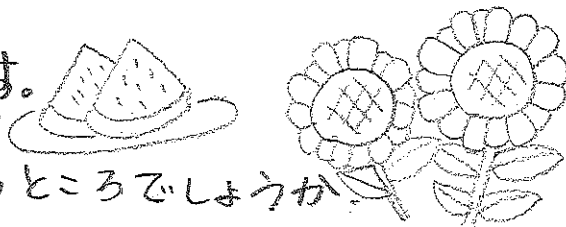


第9回 利根日石新聞です。

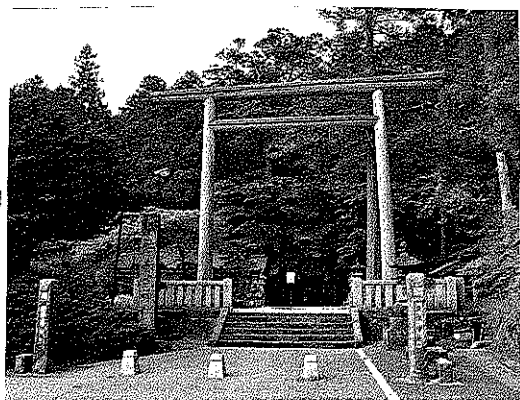


こんにちわ。いよいよ夏本番というところでしょうか。扇風機やら、エアコンの掃除やら、今年は早めにやっておくと、心に誓う今日、この日です。

夏☀️といえば「海ですが」、山もいいものです。ね。

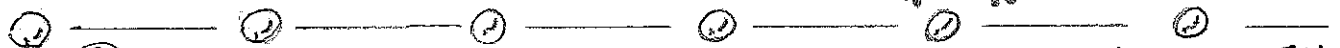
今日は赤城神社をご紹介します。

県内に118社も分社があるとの事で、由緒ある神社のようです。そびえ立っている鳥居をくぐり、境内に入ると、中の空気は湿気がありそうで、ひややか～な感じです。



有名な御神水なのか、おいしいお水なのでしょうか。水タンクを持た方が並んでいました。私も空いたペットボトルにお水をいただいてみました。拝殿をお参りして、横の方へ行くと、たわら杉という樹齢1000年の大杉が「凜」と立っていて、見ていると自分にパワーをもらったようでした。この神聖な場所に...

みなさんも訪ねてみて下さい。



① 白沢ふるさと祭りのお知らせ

7月25日(日)に道の駅「白沢」(望郷の湯)にて開催されます! (PM2時~4時まで) 町内7地区から大人みこし、子供みこしが勢揃いし、二荒太鼓の演奏と相まって、会場は毎年大変な熱気に包まれます。

会場では、来場者の人たちにいろいろなものが振る舞われます!

かき氷、新鮮トマト、みえまんじゅう

他、いろいろおいしいものが、皆さんを待っています

とてもしっかりおいしいです! 絶品があります!

お祭りを見たら、望郷の湯で汗を流してみれば! お肌がツルツルになりますよ!

駐車場も120号線沿いに臨時ですが用意してあります。ぜひ、出かけてみてください! おすめびが、タレ、うわ、暑さ対策は忘れずに



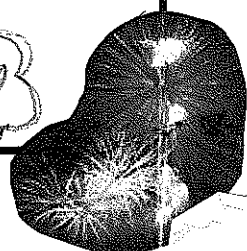
② こんから夏野菜がおいしい季節

揚げだれ野菜 玉ねぎ、かぼちゃ、じゃがいも、ピーマン4つ切り、たまごも食べやすい大きめに切りゆで卵(おたけにね) 塩、お酢、水、小麦粉を油で揚げます。だれ汁(しょう油、みりん、正油、砂糖少々)しょう油をまぜてあげた野菜を汁につけて食べて下さい。

③ もやしとわかサラダ

しょう油、白すりごま、だし、ラー油、しょう油でたれを作ります。今、おしめ用いかがありますか? 小さく切り、もやし、セロリ(細切り)セロリがきらいな人はキャベツにして、全部一緒に塩を入けてゆでて下さい。水分を切ったらたれをかけ、どうぞベーコンや、ウインナーを入れてラー油を振って子供たちも食べられます。

あけのワンポイントレシピ



2009年11月1日

創刊

平成22年度7月号

第00009号

発行 利根日石株式会社 本社 販売管理課 Tel:0278-24-1635 Fax:0278-23-7980

地球環境を思う。。。

先日、国立環境研究所の江守正多氏の講演を聞きました。

江守氏は地球温暖化問題のスペシャリストで、コンピューターによるシミュレーションを用いて、地球温暖化の将来予測を行なっています。

地球の長い歴史、数万年という時間から見ると、ここ数年での地球上の平均気温の上がり方は異常であると江守氏は言います。

南極の氷が溶け、各地の海岸線で海面が上昇するだけでなく、生態系が狂い、食料事情が悪化し、色々と生活に直接関わる問題が発生するようです。

ここまでは良く聞く話ですが、興味深かったのは、如何にこの問題に対処するべきか、その方法について、あもしろい表現を述べていました。即ち、温暖化問題の対策には「心技体」が必要だということです。普通、「心技体」といえば、スポーツ選手の心構えみたいなものを連想します。心を育て、技を磨き、体力を養えば、一流のアスリートになれる。しかし、同じことが温暖化問題への対応の重要なキーワードとなります。

① 心：ひとりひとりが無駄を減らし、地球環境への負荷が少ない生活をしていこうという個人の心。

② 技：地球環境への負荷を上げることなく、生活を豊かにする環境技術。

③ 体：地球環境を優先させた社会構造、インフラの構築。

①は「マイ箸」や「マイボトル」、「エコバック」の活用、冷暖房の設定温度をゆるくするなどなど、私たちの日常生活の中で実践出来ること、又心を育くむ心ですが、これだけでは莫大な量の二酸化炭素を削減する事は出来ません。そこで②の環境技術の発達が必要となります。ハイブリッドカーや電気自動車などのエコカー、太陽光発電や風力発電など新しい発電技術、エコフレンドリーやエコキュート、エコジョーズなどエコ型ホームエネルギー機器など、ここ数年でヒットした新商品で「エコ」と関係しないものを探すのが難しい程、エコ技術、エコ商品の発達は進んでいる。

③は一見、難しい様に見えますが、例えば二酸化炭素の排出権取引や、環境税の導入など社会のルールや仕組みの変化でしょうか。

こうして見まわしてみると、随分とエコが進んでいるようにも思えますが、まだまだ削減目標には届きません。石油製品を扱う当社としては、中々真正面から向きあう事が難しい問題ですが、もうどう言ってもいない現状です。まず取り組んだのが、太陽光発電。発電所から伸びる膨大な長さの送電線で矢張り送電ロスばかりの量となります。今後普及が予想される燃料電池はこの送電ロスを大幅に削減し、効率良く家庭用電力を賄います。太陽光と燃料電池を組み合わせ、効率良く、コストメリットも出ることが出来ます。

今後も地球環境を意識しつ、お客様へBestなご提案をして参ります！